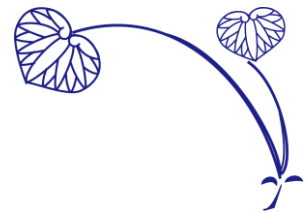


◆ 「音楽の殿様」とそのコレクションをめぐって ◆

なんき  
♪南葵音楽文庫♪  
ミニ・レクチャー  
毎週開催

申込不要 聴講無料  
どなたでもご参加いただけます

主催 和歌山県立図書館



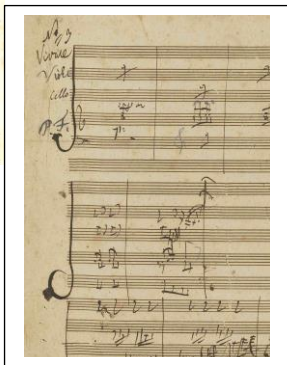
NANKI MUSIC LIBRARY

なんき  
南葵とは紀州徳川家。その当主であった徳川頼貞が残した貴重な音楽の資料や、それにつわる歴史を、専門の研究者が解説します。文庫の資料が南葵音楽文庫閲覧室で、実際に資料を手にとり音や映像をまじえ紹介します。

▼南葵音楽文庫閲覧室入口 手前ケースに関連資料展示



▲シューベルト《魔王》の挿絵



ベートーヴェンの自筆楽譜▶



これまでの主なテーマ : 頼貞が会った音楽家たち 楽譜から見えるもの: 楽譜出版者の販売戦略 徳川頼貞と本居長世 徳川頼貞と武井守成のプレクトラム合奏団 南葵楽堂開館100年記念! 頼貞とヨーロッパの音楽家たち 南葵音楽文庫: 2つの世界大戦とその狭間でレッスンという名の優雅な傑作: ヘンリー・パーセルのチェンバロのための作品 イギリス人は踊り好き? イギリス・ルネサンス期の音楽理論書を読む 南葵音楽文庫と日本人作曲家の楽譜 こどもたちのための音楽 明治の来日オペラ団と徳川頼貞

- ❖ ミニ・レクチャーは毎週末「南葵音楽文庫閲覧室」で各回 30 分程度 和やかな雰囲気の中でおこなわれています。定員は約 20 名（先着順） 講師への質問も歓迎します。
- ❖ 週により、曜日と時間が異なります。詳しくは裏面の一覧表で確認願います。
- ❖ 「南葵音楽文庫閲覧室」前に置かれた所定の「入室申込書」に記入、受付票と資料を受けとり入室してください。受付はレクチャー開始の 15 分前からです。

▼閲覧室内部の展示

▼徳川頼貞 1892-1954

▼アクセス（駐車場無料）



# 2019年4月～6月

土曜、日曜 11時～ \*金曜 18時15分～

月日	タイトル	講師	予定している内容
4月 7日 日	南葵楽堂開堂記念委嘱作品 E. W. ネイラー 序曲《徳川頼貞》	篠田大基	南葵楽堂の開堂を祝して徳川頼貞の恩師 E. W. ネイラーが贈った序曲《徳川頼貞》(2019年吹奏楽版楽譜配布開始)を解説。
12日 金*	南葵音楽文庫で学ぶ西洋音楽史(1) 中世ヨーロッパの音楽「グレゴリオ聖歌」	佐々木勉	南葵音楽文庫の貴重資料『使徒書簡と福音書の朗唱法』を紹介しながら、西ヨーロッパ最初の芸術音楽とされるグレゴリオ聖歌について解説します。
20日 土	作曲家・本居長世	林淑姫	徳川頼貞の恩師・本居長世の作品をめぐって
27日 土	1921年5月・巴里の頼貞	近藤秀樹	第二次外遊でパリを訪れた頼貞。その足跡を、当時のパリ楽壇のなかに辿る。
5月 5日 日	南葵音楽文庫を知る —基本の基本—4. 「書票」とは	美山良夫	南葵音楽文庫に残る「書票」と頼貞の蔵書票を解説。小さな紙片に込められた出版者、印刷者、所蔵者の思い。分かる事実と残る謎など。
10日 金*	南葵音楽文庫で学ぶ西洋音楽史(2) 中世ヨーロッパの音楽「ドレミの起源」	佐々木勉	南葵音楽文庫が所蔵する中世の音楽理論関連の文献を紹介しながら、「ドレミの起源」について解説します。
18日 土	徳川頼貞とヘンリー・ウッド	林淑姫	1921年頼貞は8年ぶりにロンドンを訪れ、名指揮者ヘンリー・ウッドと親しく交流した。彼から楽堂運営の助言も得ている。そのエピソードを追う。
25日 土	ベルリンの頼貞	泉 健	ベルリンを数度訪問した頼貞の、当地での足跡と音楽体験を、20世紀初頭から1920年代までの激動のドイツ史の流れの中に辿る。
6月 2日 日	オネゲルとスナール ～ピアノ曲を中心に	近藤秀樹	スナール社の看板作曲家だったオネゲル。スナール室内楽シリーズの一環として出版された初期のピアノ曲《ロマンの音楽帖》を聴く。
7日 金*	南葵音楽文庫を知る —基本の基本—5. 書物の装幀	美山良夫	南葵音楽図書館の製本室で90年前におこなわれていたことを実例をもとに紹介。装幀の役割、装幀の素材とデザイン等。
15日 土	南葵音楽文庫で学ぶ西洋音楽史(3) 中世ヨーロッパの音楽「楽譜の誕生と発展」	佐々木勉	南葵音楽文庫が所蔵する記譜法関連の文献を紹介しながら、楽譜の誕生から今日の楽譜に至る発展を解説します。
22日 土	音楽の温故知新 ～スナール室内楽シリーズから	近藤秀樹	スナール社の室内楽シリーズから、リュリ《パサカイユ》(ジル＝マルシェックス編)を取り上げる。
29日 土	幻の上海交響楽団来日公演	林淑姫	頼貞は1924年上海を訪れ、上海交響楽団(1879年創立)の演奏を聴いた。この「東洋一の管弦楽団」の日本招聘を計画、奔走したが、遂に実現に至らなかった。実現すれば史上初の外来オーケストラ公演になる筈だったのだが…。その顛末を追う。

## ◆ 講師紹介 (順不同)

タイトル、講師は変更になる場合があります。

近藤秀樹 大阪教育大学非常勤講師。京都フランス歌曲協会企画委員。  
 篠田大基 元 慶應義塾大学 DMC 機構助教。南葵音楽文庫貴重資料のデジタル化プロジェクトに加わった。  
 佐々木勉 放送大学非常勤講師、元慶應義塾大学、立教大学非常勤講師、元名古屋音楽大学教授。西洋音楽史専攻。  
 林 淑姫 旧日本近代音楽館事務局長・主任司書、元 明治学院大学大学院客員教授。日本近代音楽史研究。  
 美山良夫 慶應義塾大学名誉教授。元 読売日本交響楽団理事。南葵ボランティアのメンバー。  
 泉 健 和歌山大学名誉教授

ミニ・レクチャーで配布した資料は、南葵音楽文庫ホームページでご覧になれます。  
 和歌山県立図書館 → 南葵音楽文庫 → 事業案内 問い合わせ先 073-436-9520